

令和5年度第2回狛江市立公民館運営審議会会議録

- 1 日 時 令和5年5月23日（火）午後6時30分～8時
- 2 場 所 中央公民館 第4会議室
- 3 出席者 斎藤謙一委員長、都築完副委員長、内海貴美委員、伊勢亀慎司委員、伊東達夫委員、細谷明美委員、岩瀬敏郎委員
事務局（浅井信治公民館長、瀧川直樹副主幹（兼）事業係長、高橋公平主任）
- 4 欠席者 長岡智寿子委員、天野泰子委員
- 5 傍聴者 0名
- 6 資料 資料1 公民館事業評価の選定について
資料2 令和4年度子ども・若者事業 一覧
資料3 公民館事業評価シート（西河原映画会）等

7 議 題

<議題>

- 1 開会
岩瀬委員に任命状を交付
岩瀬委員から就任のあいさつ
- 2 報告事項
(1) 令和5年度利用者懇談会について
(2) 市民センター改修基本設計・新図書館整備基本設計に係る市民説明会について
- 3 審議事項
(1) 公民館事業評価の選定（子ども・若者事業）について
事務局
資料1に基づき、説明
委員長
事務局より、子ども・若者事業の評価方法について、講座ごとの評価ではな

く、事業全体をまとめて評価としたい旨提案があったが、そのことについて議論を深めることとする。

委員

「小さいコンピュータでプログラミングを体験しよう！」は6人の参加となっているが、募集人数自体が少なかったということか。

事務局

定員10人の公募で8人から申し込みがあり、そのうち2名が当日キャンセルとなったため、最終的には6人となった。

委員長

子ども・若者事業を今後どのようにしていきたいかを考える必要がある。

また、児童館でも子ども向けの講座を行っていると思うが、内容が重複していないかについても確認する必要がある。他の施設・部署の子ども向けの講座の状況について、事業評価をする際は資料をいただきたい。

事務局

了解した。

事業評価をする際は、子ども・若者事業の全体の目的に沿っている分野かどうか、ジャンルのバランス等についても評価いただければと思う。

委員

募集人数に対して何人参加したかという割合も知りたい。また、講座を実施した経緯や選択理由も教えていただきたい。

委員

単発の講座は、市で企画してから実施できる講師を探すのか、あるいは講師から企画の提案を受けて事業を行うのか、どちらか。

事務局

公民館の職員がニーズや社会的課題を踏まえて企画し、実施可能な講師に連絡することが多い。企画の提案を受ける場合もあるが、その場合には、社会教育として実施するのに合っているかどうか等を踏まえて、実施するかを検討している。

委員

チラシ、インターネット等、募集の媒体も資料に追記いただきたい。

委員

新規の講座と継続の講座があるが、もし継続している理由が分かれば、それも

知りたい。

委員長

それでは、講座単体でなく、子ども・若者事業としての全体で評価するという
ことでよろしいか。

委員一同

異議なし

(2) 公民館事業評価(西河原映画会)について

委員

指標を設定していないと思うが、何を基準に公民館としての評価を付けているの
か教えていただきたい。

事務局

<周知>については、参加者が大きく増えていけばAと評価できるが、令和4
年度は令和3年度と比較してもあまり変わらず、横ばいの結果となった。

午前、午後と合わせて50人以上の来場者がいるので、公民館事業としては比
較的多い方であると考えられるが、特段新しい<周知>方法に取り組んだわけ
はないので、今回はB評価とした。

委員

リピータの方もいるのか。

事務局

西河原映画会は毎回奇数月の第2土曜日に定期開催されており、リピータの方
も多い印象である。

委員

<周知>の評価については、会場の定員等も踏まえて、目標となる来場者数を
事前に決めておいた方が評価しやすくなるを考える。

委員長

これまではアンケートを取っていなかったもので、来場者の「<満足度>」を把
握出来ていなかった。令和5年度から、参加者にシールを使って上映映画を評価
してもらうよう事務局に提案したところである。もし「次回に期待!」に全員が
貼って帰ってしまった場合は、その映画会はたとえ来場者が多かったとしても、
成功したとは言えないと考えられる。

委員

アンケートに「上映してほしい作品は何か」といった質問項目に加えても良い

と思う。

委員

市内の児童館で映画会は行われているか。

事務局

児童館の映画会については聞いたことがない。ただ、上映していたとしても、西河原公民館の多目的ホールのような大きいスクリーンや音響設備はないと思うので、差別化はできていると考える。

委員

他の公共施設で実施している子ども向けの事業を把握してから事業を検討・企画することは重要である。

委員

<周知>の視点では参加者数で評価を行い、<満足度>の視点ではアンケートの結果で評価するのが適していると考ええる。

委員長

<環境>については、コロナ禍でも継続的に事業ができており、クラスターを起こしてはなかったのでA評価でも良いと感じた。なぜ公民館としてB評価としたか伺いたい。

委員

新型コロナの感染があったかどうかについて、公民館としてどのように把握しているか。各参加者に対して連絡を取っているのか。

事務局

公民館から連絡はしておらず、ただ、「感染した」という参加者からの連絡がなかったということである。

委員

帰宅後に発熱があった場合には連絡をもらうよう整理券に記入していたのか。

事務局

記入していない。

委員

それでは、感染者発生の有無について断言はできないので、A評価は難しいと考える。

委員長

＜満足度＞については、アンケートをこれまでして来なかったのでC評価にせざるを得ないと思う。

委員

＜達成度＞というのは、事業目的の「芸術文化を享受する機会を提供する」を、定期的に実現できているので、評価しても良いと考える。

委員

上映映画は、どういう視点で選定されているのか。

事務局

邦画、洋画、アニメ等ジャンルがバランス良くなるよう考えている。また、LGBTやホームレス等、社会的なテーマ性も考慮している。

委員長

＜学び＞の場というのは非常に重要なものだと思うが、一方で映画を純粋に楽しむことも重要であるのではないか。

事務局

もちろん、＜学び＞としての視点は大切にしつつも、皆さんに楽しんで喜んでもらえるかなという視点も必ず入れた上で選んでいます。

委員

公民館の最終的な評価として、どのような基準で付けられているか。

事務局

公民館の中で話し合っ最終的に館長が決めている。新たな視点や取組を行っているか、社会教育的な視点、意図が伝わっているかななどを考慮して決めている。

事務局

5つ目の評価項目は、独自評価項目となるが、今回は事務局で＜＜学び＞＞という項目を仮に入れさせていただいたが、例えば、発展性といったような他の独自評価項目でも構わない。

委員

映画会を評価をする上では、純粋に来場者に楽しんでもらえたかという視点が大切であると考えます。

委員

達成感とはまた違った充実感といったことも大切である。

委員

見る方の価値観にあっていれば〈学び〉につながるが、そもそも参加者がそれぞれ違う目的で参加しており、〈学び〉という視点で評価するのは難しいと感じる。

委員長

地域に娯楽を提供するというのも、社会教育の大切な役割だと思う。要するに娯楽という文化を提供するということである。娯楽も一つの〈学び〉である。公民館ほど大きいスクリーンを持っている家庭は流石にないと思うので、それを体験できることは貴重な経験である。

委員

事業目的にも「芸術文化を提供できているか」とあるので、独自評価項目は「芸術文化」がよろしいかと思うがいかがか。

事務局

了解した。それでは〈学び〉ではなく、〈芸術文化〉とする。

委員

〈周知〉の段階で、この映画の内容は、こういうもので、皆さんにこういうことを感じていただきたいと歌ってやるのであれば、具体的に〈学び〉とか、それに対する意図が伝わりやすいです。そうしないと具体的にアンケートでも記入してもらいにくいです。

事務局

確かに、映画を選定する際には、公民館の目的やビジョンがあった方が良く思うんで、それがまだ不足している旨については、今後の課題に入れさせていただく。

委員

映画監督や脚本家の意図や思いを汲み取り、涙を流す参加者もいれば、笑う参加者もいるのは当然であり、そうなれば娯楽という文化を提供できていると言えると思う。

委員

アンケートをする際は、子ども・学生・現役世代・シニア世代といった形式で大まかにシールの色を変えて、把握するのが良いと思う。

委員

例えば次回に期待を選んだ人は、自分の趣味とは異なっていたということをちゃんと反応してくれています。1番悲しいのは誰もシールを貼ってくれないことである。

委員

千代田区の催し物のあのチラシがとても良いです、どういう意図で行うかが短く必ず書いてあります。それを見て、随分参加しました。

委員長

今後の課題については、アンケートを取る必要があるということですね。費用対効果の面でも公民館図書室があるのでその作品がその定額で借りれるならば利用した方が良いと思います。プラスの方の課題ですね、

委員長

それでは評価をまとめたいと思います。

<周知>

公民館B 公運審A 全体A

<環境>

公民館B 公運審B 全体B

<満足度>

公民館C 公運審C 全体C

<達成度>

公民館B 公運審B 全体B

<学び>→<芸術文化>

公民館B 公運審A 全体A

※<学び>は、<芸術文化>に評価項目を変更

※公民館と公運審の意見が違う場合は公運審の意見を全体の意見とする。

次回開催日：令和5年6月27日（火）午後6時30分～

会 場：中央公民館 第四会議室